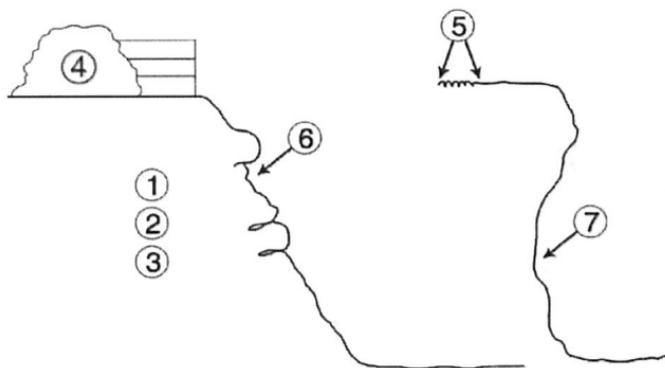


Ⅲ 倒壊・崩壊の防止

Ⅲ-1-1. 掘削作業

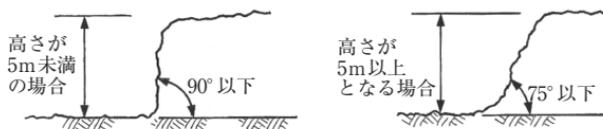


- 1 掘削作業前の調査事項
 - * 形状、地質、地層
 - * 亀裂、地下水、湧水
 - * 地中埋設物
(ケーブル、ガス管、水道管、他.)
 - * ガスや水の噴出
- 2 2m以上の掘削では、作業主任者が任命されているか？
- 3 土止め支保工作業では、作業主任者が任命されているか？
- 4 掘削後の法肩部に残土を置いていないか？
- 5 浮石や亀裂を確認しているか？
- 6 降雨時に法面養生をしているか？
- 7 すかし掘りをしていないか？
- 8 夜間照明は適切か？

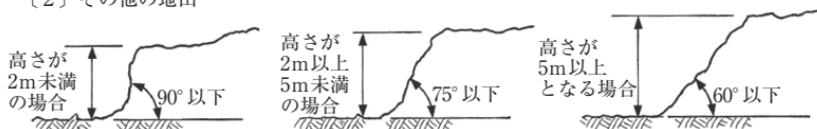
Ⅲ－１－２．掘削作業

崩壊の恐れのある表土や浮石は除去しているか？

〔１〕岩盤または堅い粘土からなる地山



〔２〕その他の地山



〔３〕砂からなる地山



または
高さ5m未満

- ・勾配を35°以下にするか
高さを5m未満とすること

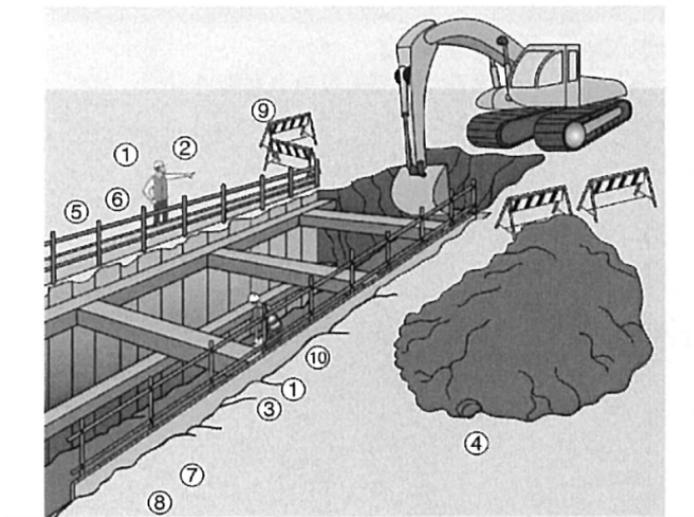
〔４〕発破等により崩壊しやすい状態の地山



または
高さ2m未満

- ・勾配を45°以下にするか
高さを2m未満とすること

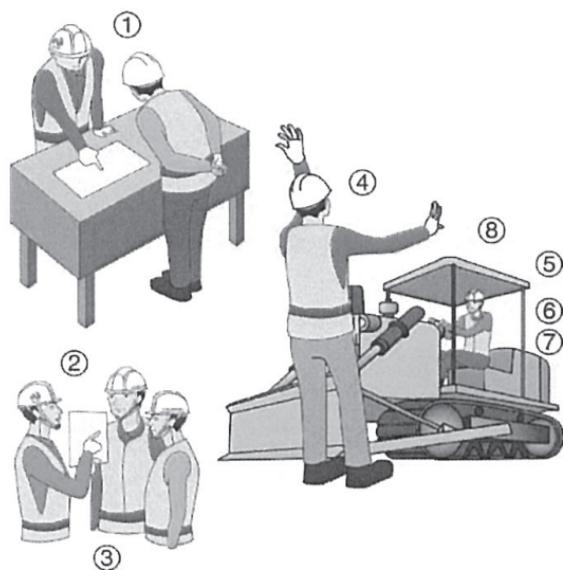
Ⅲ－２．土止め支保工



- 1 深さ2m以上の掘削作業では、作業主任者が任命されているか？
- 2 クラックや落石のチェックリストはあるか？
- 3 土止め計画とおり施工しているか？
- 4 掘削土は安全な場所に置かれているか？
- 5 深さ1.5m以上のときは、土止め支保工及び手すりがあるか？
- 6 早めに腹起し、切梁を設置しているか？
- 7 作業主任者は任命されているか？
- 8 作業開始前に地山の状態を確認しているか？
降雨や地震後に地山の状態を確認しているか？
- 9 立ち入り禁止のバリケードや看板はあるか？
- 10 昇降階段はあるか？

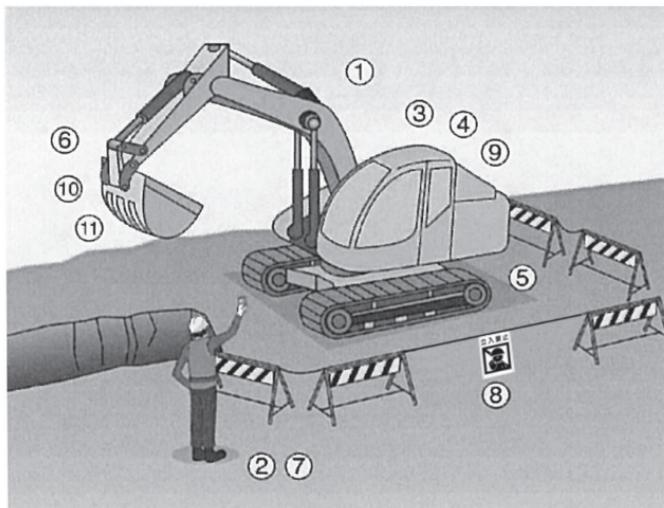
IV 建設機械等による災害の防止

IV-1. 車両系建設機械作業



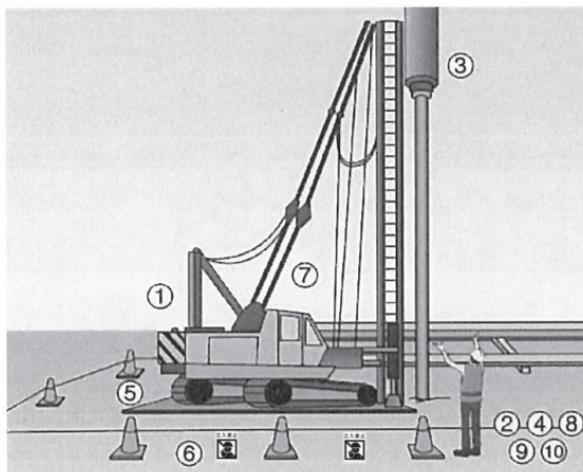
- 1 車両系建設機械の作業計画を作成したか？
・種類と能力
・運行経路
・作業方法
- 2 作業員の配置を作業前に決めているか？
注意事項は全ての関係者に周知しているか？
- 3 作業前点検をしているか？
(法定点検・自主点検)
- 4 誘導員を任命しているか？
合図は統一されているか？
- 5 オペレーターは機械の特性を十分理解しているか？
用途外使用をしていないか？
- 7 作業員が運転席以外の場所に乗っていないか？
- 8 オペレーターは資格証を持っているか？

IV-2. 油圧ショベル



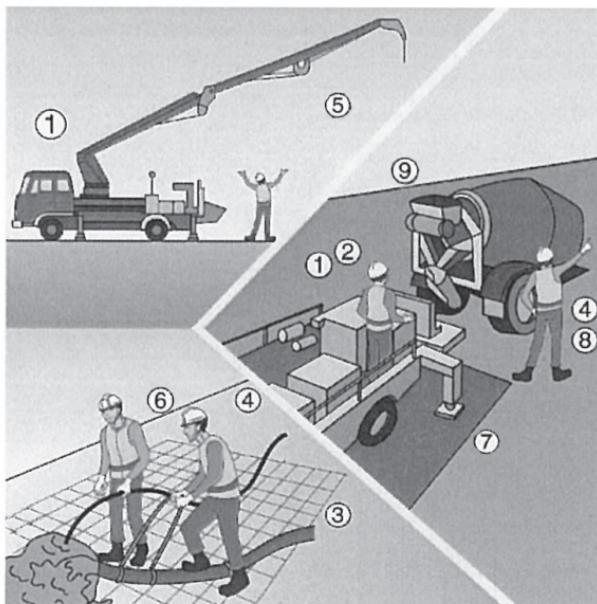
- 1 掘削作業は作業計画や作業手順に基づいているか？
- 2 作業主任者は任命されているか？
- 3 オペレーターは資格証を持っているか？
- 4 ブレーキ、クラッチ、油圧装置などを作業前に点検しているか？
- 5 機械設置場所の強度は十分か？
- 6 機械旋回半径内に作業員が入っていないか？
- 7 狭い場所では合図者を配置しているか？
- 8 立ち入り禁止バリケードはあるか？
誘導員はいるか？
- 9 オペレーターが運転席を離れる際は、エンジンを停止させているか？
- 10 すかし掘りをしていないか？
- 11 油圧ショベルをクレーンとして使っていないか？

IV-3. 杭打ち・杭抜き機



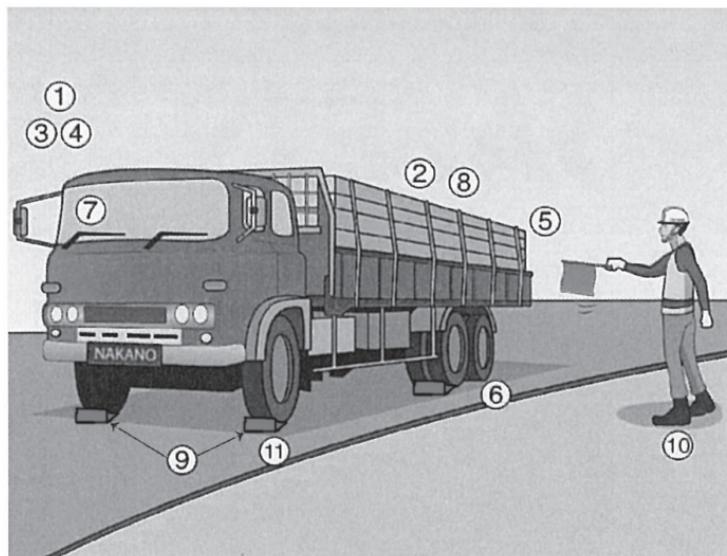
- 1 オペレーターは資格証を持っているか？
- 2 作業は、作業計画や作業手順に基づいて行われているか？
- 3 クラッチ、ブレーキ、巻き上げワイヤーに異常はないか？
- 4 合図は統一されているか？
- 5 敷き鉄板を使用しているか？
- 6 他の作業員が近づかないようにバリケードを設置してあるか？
- 7 オペレーターが運転席を離れる際は、エンジンを停止させているか？
ハンマーは下に降ろしてあるか？
ブレーキはかかっているか？
- 8 組立、移動時は作業主任者を配置しているか？
- 9 監視人はいるか？
合図者はいるか？
- 10 合図者は指名された者か？

IV-4. コンクリートポンプ車



- 1 移送管の組立は、有資格者が行っているか？
- 2 移送管の組立は、作業手順書に基づき作業主任者の指揮で作業しているか？
- 3 移送管の接続部の状態は良いか？
- 4 合図は統一されているか？
- 5 ブームの下に作業員はいないか？
- 6 打設順序は決めてあるか？
関係者に周知したか？
- 7 軟弱地盤では敷き鉄板を使っているか？
- 8 誘導員はいるか？
- 9 移送管の洗浄時は、飛び出し防止がなされているか？

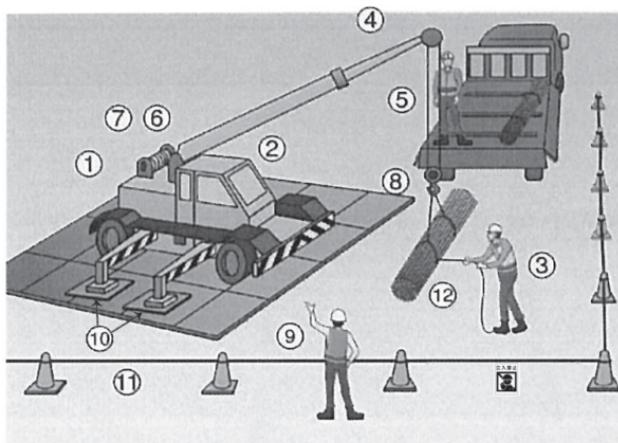
IV-5. ダンプ・トラック



- 1 走行前にブレーキ、クラッチの点検をしたか？
- 2 積荷は最大積載荷重を超えていないか？
- 3 テールランプに異常はないか？
- 4 ライト等のインジケーターに異常はないか？
- 5 アラームに異常はないか？
- 6 タイヤに泥がついていないか？
- 7 運転手は交通ルールを守っているか？
- 8 荷台昇降機の点検をしているか？
- 9 傾斜地ではストッパーをかけているか？
- 10 誘導員はいるか？
- 11 乗車定員数を守っているか？

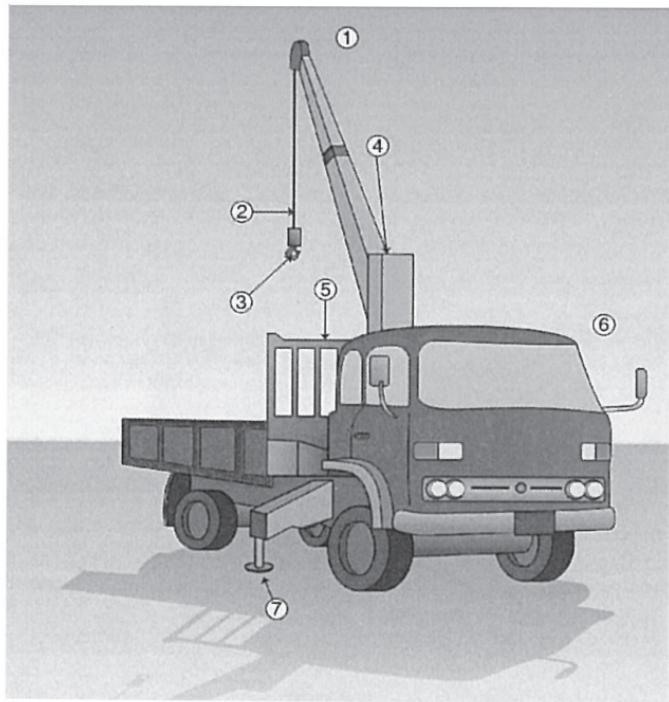
V クレーン等による災害の防止

V-1. 移動式クレーン



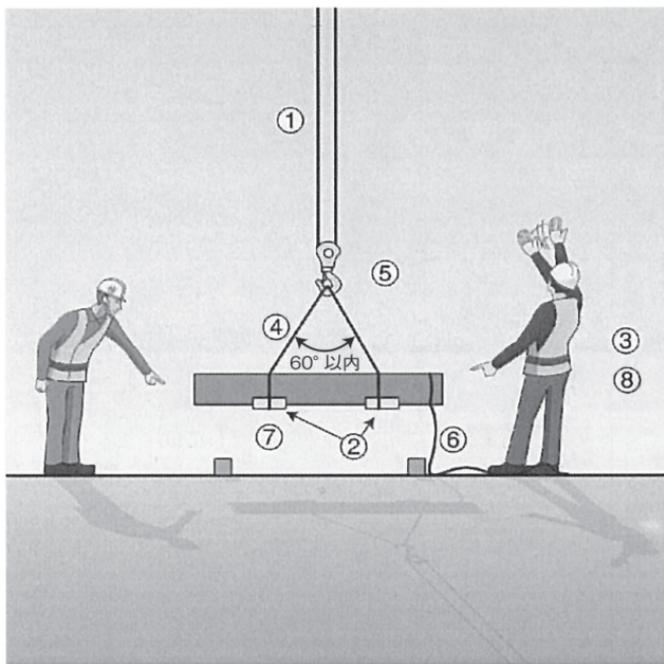
- 1 作業方法は決められているか？
作業指揮者はいるか？
- 2 オペレーターは資格証を持っているか？
- 3 玉掛け者は資格証を持っているか？
- 4 クレーンの能力は、作業計画に対して十分か？
- 5 ワイヤーに損傷はないか？
- 6 ブレーキとクラッチに損傷はないか？
- 7 過負荷防止装置のスイッチは入っているか？
- 8 ワイヤーの外れ止めは異常ないか？
- 9 合図者を指名しているか？
合図方法は決められているか？
- 10 地盤は強固か？
アウトリガーは、最大張り出しとなっているか？
- 11 クレーン周囲はバリケードを設置してあるか？
- 12 吊り荷の下に人はいないか？

V-2. ユニック・カーゴクレーン



- 1 過巻警報装置に異常はないか？
- 2 ワイヤーに異常はないか？
- 3 フックの回転具合はよいか？
ワイヤーの外れ止めはよいか？
- 4 荷の重さは吊り上げ能力以下か？
- 5 乱巻きになっていないか？
ブレーキに異常はないか？
- 6 オペレーターは該当するクレーンの資格を持っているか？
- 7 地盤は強固か？
アウトリガーは、最大張り出しとなっているか？

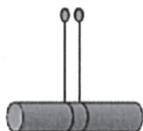
V-3-1. 玉掛け作業



- 1 ワイヤーに損傷はないか？
- 2 荷の角にはワイヤー防護があるか？
- 3 玉掛け者は資格を持っているか？
- 4 吊り角度は60° 以内か？
- 5 1本吊りをしていないか？
- 6 長尺物には介錯ロープを使っているか？
- 7 地切りをし、吊り荷の安定を確認しているか？
- 8 玉掛け作業責任者の指揮で作業しているか？

V-3-2. 玉掛け作業

1. 1本吊り
原則禁止

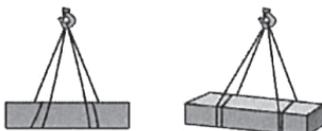


《介錯ロープの使用》

介錯ロープは長尺物を吊る際に使用する
介錯ロープを使って荷ぶれを防止する

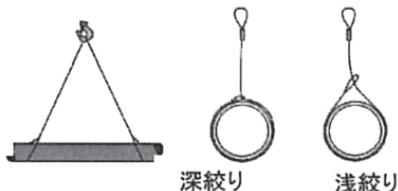
2. あだまき

長尺物を吊る時は、あだまきが
安全な吊り方である



3. 目通し吊り

目通し吊りは、ワイヤーを
極度に折り曲げるため、
望ましくない

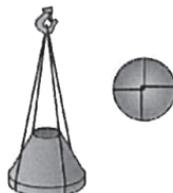


4. はかま

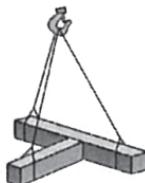
強度のあるバッグを使用



- 6) その他

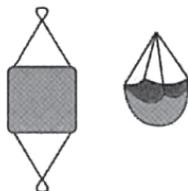


- 3本吊り

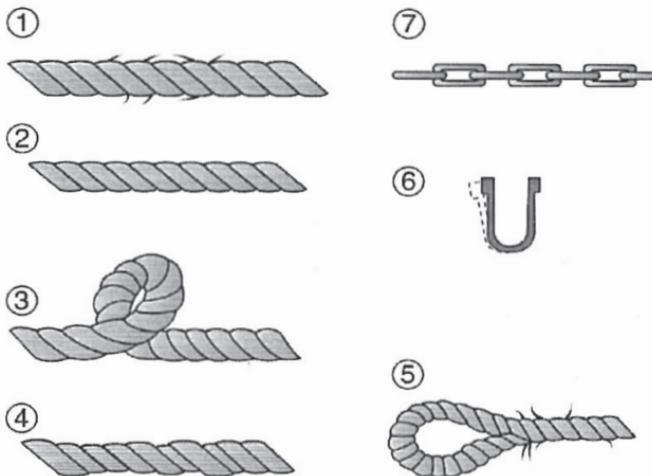


5. ワイヤーもっこ

小物を吊る際に使用



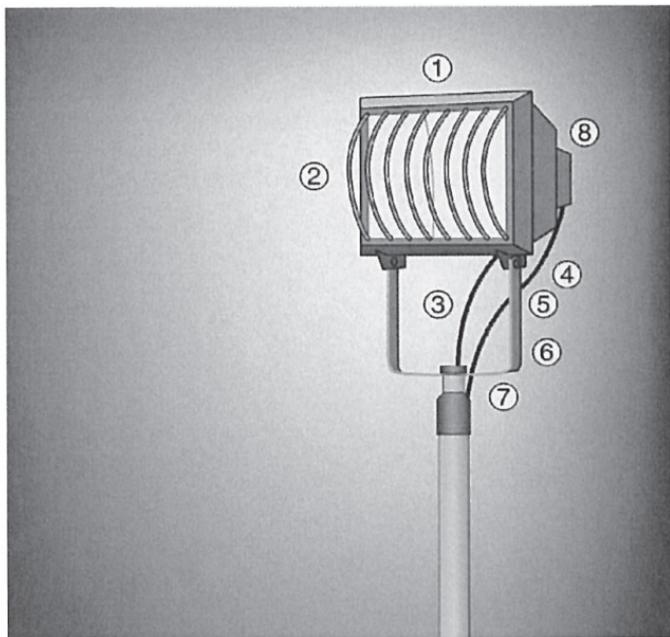
V-4. 玉掛け用具



- 1 1よりの中で10%以上の素線が切れているワイヤー
- 2 直径が7%以上減少しているワイヤー
- 3 キンクしているワイヤー
- 4 著しい型崩れや腐食があるもの
- 5 サツマ部分が損傷したワイヤー
- 6 シャックルやクリップで変形または亀裂のあるもの
- 7 長さが製造時の5%以上伸びてしまったチェーン

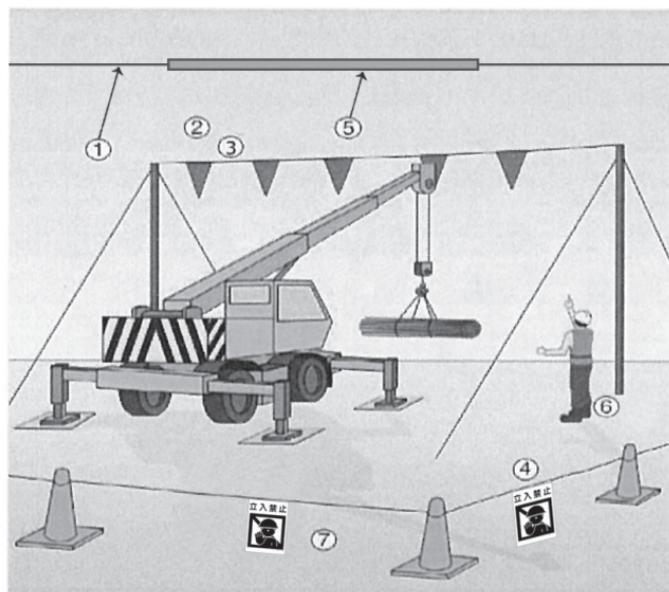
Ⅵ 感電災害の防止

Ⅵ-1. 仮設照明



- 1 電球やソケットが破損していないか？
- 2 電球カバーはあるか？
- 3 ケーブルは破損していないか？
- 4 ケーブルはキャブタイヤを使用しているか？
- 5 キャブタイヤの損傷はないか？
- 6 キャブタイヤをロープとして使用していないか？
- 7 キャブタイヤに過熱しているところはないか？
- 8 差込みプラグに損傷はないか？

VI-2. 架空電線近接作業



- 1 電線の位置を確認したか？
- 2 安全対策を電力会社と協議したか？
- 3 電圧、位置、距離を確認したか？
危険表示看板はあるか？
- 4 感電防止用の囲いはあるか？
- 5 防護管を装着したか？
- 6 監視人はいるか？
- 7 安全な離隔距離は、確保されているか？